

2023 年度（一社）日本音響学会九州支部総会資料

会場：九州大学 大橋キャンパス 3 号館 2 階 322 教室
福岡市南区塩原 4 - 9 - 1

日時：2023 年 3 月 26 日（日）14:30 ～ 16:00

議事内容：

1. 2022 年度活動報告
2. 2022 年度収支報告
3. 2023 年度会計監査報告
4. 2023 年度活動計画
5. 2023 年度予算案
6. 2023 年度支部役員及び評議員選挙結果
7. 支部学生表彰について
8. その他

1. 2022 年度活動報告

事業年度：2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日

(1) 2022 年度会員現況

会員種別	2022 年 3 月 23 日現在	2023 年 3 月 1 日現在	2022 年度内の 増減
名誉会員	1	1	0
終身会員	9	11	+2
正会員	144(15)	137(10)	-7
学生会員	54(15)	63(13)	+9
会員数合計	208	212	+4
賛助会員	2 社 2 口	2 社 2 口	0 社 0 口

※括弧内は会費未納者

(2) 2022 年度役員名簿

役職	氏名	所属	任期満了日
支部長	川井 敬二	熊本大学	2024 年 3 月 31 日
副支部長	河原 一彦	九州大学	
庶務幹事	城 一裕	九州大学	2023 年 3 月 31 日
	小林 牧子	熊本大学	2024 年 3 月 31 日
会計幹事	藤井 慶	熊本高等専門学校	2023 年 3 月 31 日
	中島 栄俊	熊本高等専門学校	2024 年 3 月 31 日
会計監査	西島 恵介	大分大学	2023 年 3 月 31 日
	尾本 章	九州大学	2024 年 3 月 31 日
評議員	藺田 光太郎	長崎大学	2023 年 3 月 31 日
	福島 学	日本文理大学	
	藤井 成清	パナソニック補聴器株式会社	
	舟木 慶一	琉球大学	
	山内 勝也	九州大学	2024 年 3 月 31 日
	岡本 学	崇城大学	
	高田 正幸	九州大学	
	富来 礼次	大分大学	
	古家 賢一	大分大学	
西村 勇也	熊本高等専門学校		

(3) 支部総会定足数の確認

支部総会（2023 年 3 月 26 日 14:30～16:00）において、議決権を持つ会員数：
 名誉会員数，終身会員数，正会員数の合計 149 名
 定足数：30 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1），
 出席者：54 名（委任状提出者を含む）であるので，総会成立。

(4) 事業内容

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

開催日	支部主催 共催の別	会合名(開催場所)
2022年9月16,17日(金,土)	共催	第75回電気・情報関係学会九州支部 連合大会(オンライン開催)
2022年10月9,10日(日,月)	主催	アコースティックブートキャンプ (ABC-Q)(九州大学)
2022年11月9日(火)	共催	建築音響,騒音・振動研究会(九州 大学)
2022年12月3日(土)	主催	第16回学生のための研究発表会 (オンライン開催)
2022年12月12日(月)	共催	音のデザイン調査研究委員会,騒 音・振動研究会(九州大学)
2022年12月17,18日(土, 日)	共催	聴覚研究会(九州大学)
2023年2月19日(日)	共催	音楽音響研究会(九州大学)
2023年3月26日(日)	主催	講演会(九州大学)
2023年3月27日(月)	共催	騒音・振動研究会(九州大学)

2. 学生表彰の実施

2022年度エントリ締切(2023年1月16日)から遡って2年以内に九州支部が主催または共催した研究発表会、研究会等における学生の発表を対象として応募者を募り、特に優れたものを表彰する事業を行った。2022年12月23日に応募案内を送付した結果、締切までに合計で13件の応募があった。その内訳は、学部4年生が2件、大学院修士課程学生が10件、大学院博士課程学生が1件である。2023年1月に九州支部学生表彰審査委員会が設置され、厳正な選考を行った結果、5名の学生表彰者を選出した。表彰式は2023年3月26日の支部総会の後、引き続き実施される。なお、表彰対象者の詳細は後の議事で報告する。

3. 支部学会活動貢献賞による顕彰の実施

役員による推薦がなかったため、本年度は該当者なしとした。

4. アコースティックブートキャンプ(ABC-Q)の実施

2022年10月9日(日)13:00~10月10日(月・祝)13:00に九州大学大橋キャンパスにてオンサイト開催された。一般参加学生10名、教員2名、TA院生1名、実行委員3名、講師2名、計18名の参加があった。

研修内容の概要は以下の通り。

- ・技術研修1:聴能形成入門~九州支部だけのための ear training/講師:河原一彦(九州大学)

- ・技術研修 2：〇〇のための建築音響設計／講師：川井敬二（熊本大学）
- ・学生セッション：学生相互の互選により優秀発表賞を 1 名選出し、副賞（5,000 円相当）を贈呈
- ・実行委員会

実行委員長	藺田 光太郎（長崎大学）
実行委員	岩見 貴弘（九州大学）
	山下 優（長崎大学）
	関口 周（九州大学）
講師	河原 一彦（九州大学）
	川井 敬二（熊本大学）
TA	加藤 真木（九州大学）

5. 学生のための研究発表会の実施

2022 年 12 月 3 日（土）にオンラインにより開催された。15 件の発表があった。

- ・実行委員会

実行委員長	川井 敬二（支部長）
副実行委員長	河原 一彦（副支部長）
論文受付・プログラム担当	城 一裕（庶務幹事）
論文集編集担当	小林 牧子（庶務幹事）

6. 講演会の実施

2023 年 3 月 26 日（日）16:20～17:10 に対面により開催された。講師は熊本大学の川井敬二先生、講演タイトルは「子どものための建築音響設計」であり、21 名の参加があった。

7. 電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

1) 第 75 回電気・情報関係学会九州支部連合大会

2022 年 9 月 16 日（金）、17 日（土）に開催された。長崎大学で開催予定であったが、オンライン開催に変更された。講演件数は 336 件（招待 1，企業 2 含む）であり、聴講については事前・当時登録あわせて 227 件、企業協賛 4 件であった。

2) 会議

2022 年 5 月 9 日（月）第 1 回大会委員会・合同会議（オンライン会議）

2022 年 9 月 6 日（火）第 2 回大会委員会（オンライン会議）

2022 年 11 月 29 日（火）第 3 回大会委員会（オンライン会議）

2023 年 3 月 7 日（火）第 4 回大会委員会（オンライン会議）

（上記会議の重要な審議事項は、連合大会の今後の運営方針など。）

3) 2022 年度連合大会役員

大会委員 崇城大学 岡本 学

4) 2023 年度連合大会役員

2023 年度の連合大会役員を以下の通り選出した。

大会副委員長：川井敬二

庶務幹事： 小林牧子

会計幹事： 中島栄俊

(5) 事務、その他の活動

1. インターネットを利用した支部活動の公開（継続）

- 支部ホームページの運用を継続し、九州支部関連文書、支部からのお知らせ、支部行事の報告の掲載や管理を行った。
- 支部ホームページの掲載内容の充実のため、過去の総会開催や活動報告書、学生表彰者の氏名などの情報公開に向けた資料整理を行った。
- 支部会員 ML および支部役員 ML の管理。

• ネットワーク委員：

岡本則子（大分大学）（任期：2021 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

*岡本委員の任期最終年度となる 2024 年度は次期ネットワーク委員と 2 名体制とする。

2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催

2023 年 3 月に役員選挙を実施。役員会、総会を 3 月 26 日（日）対面にて実施、開催。

令和4年度 日本音響学会九州支部 決算報告

勘定科目	R04年度		増減(決算-予算)	備考
	決算(2023/03/17)	予算(本部提出)		
I 事業活動収支の部			0	
1. 事業活動収入			0	
① 事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
支部連合大会分担金戻入収入	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
国際会議事業収入	0	0	0	
② 雑収入	19	17	2	
受取利息収入	19	17	2	
雑収入	0	0	0	
③◎ 他会計からの繰入額	417,000	417,000	0	
③☆ 本部会計からの繰入金収入(送金額)	405,296	405,296	0	
△ 本部会計繰入金収入(源泉補充額)	11,704	11,704	0	
☆ 支部扱いの事業活動収入計(A)	405,315	405,313	2	
◎ 総額の支部事業活動収入計(B)	417,019	417,017	2	

勘定科目	R04年度			
	決算	予算		
2. 事業活動支出			0	
① 事業費支出	150,813	400,000	▲ 249,187	
研究委員会等事業費	40,000	90,000	▲ 50,000	
支部研究会補助金支出	40,000	90,000	▲ 50,000	4件(2022/4/1から2023/1/31)
支部談話会補助金支出		0	0	
研究発表会等事業費	50,000	200,000	▲ 150,000	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	連合大会
支部若手研究者発表会支出	0	150,000	▲ 150,000	学生のための研究(オンライン開催)
支部主催研究会支出		0	0	
講習会等事業費	49,858	100,000	▲ 50,142	
講習会費支出		0	0	
支部講演会・見学会支出		0	0	
支部交流推進経費	49,858	100,000	▲ 50,142	サマーセミナー(ABC-Q)
選奨事業費	10,955	10,000	955	
支部表彰支出	10,955	10,000	955	2022年度総会2名+台紙715円+郵送240円
貢献賞支出	0	0	0	
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出		0	0	
支部周年事業費支出	0	0	0	
その他の事業経費		0	0	
② 管理費	22,035	58,000	▲ 35,965	
旅費交通費支出		0	0	
通信運搬費支出	0	10,000	▲ 10,000	郵送
文具消耗品等購入支出	0	5,000	▲ 5,000	文具
印刷製本費支出		0	0	
支部HP維持管理費		0	0	
会議費支出	0	0	0	
支部総会関連支出	0	0	0	
支部役員会関連支出	0	0	0	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	2,035	3,000	▲ 965	振込手数料
消耗什器備品購入費支出		0	0	
雑費支出	20,000	40,000	▲ 20,000	支部Web管理委託バイト
③ 他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出		0	0	
			0	
☆◎ 支部扱い事業活動支出計(C)	172,848	458,000	▲ 285,152	
☆ 支部扱いの事業収支差額(D)[A-C]	232,467	▲ 52,687	285,154	
◎ 当期支部源泉支払額(E)	3,411	17,000	▲ 13,589	今期の源泉支払(謝金&バイト)
◎ 当期支部事業収支差額総計(F)[B-C-E]	240,760	▲ 57,983	298,743	

II 投資活動収支の部			0
			0
1.投資活動収入			0
①固定資産売却収入	0	0	0
什器備品売却収入		0	0
②積立金取崩収入		0	0
			0
投資活動収入計	0	0	0
			0
2.投資活動支出			0
①固定資産取得支出		0	0
②特定資産取得支出		0	0
			0
③繰入金支出		0	0
			0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額(G)	0	0	0

III 財務活動収支の部			0
1.財務活動収入			0
①借入金収入		0	0
財務活動収入計	0	0	0
			0
2.財務活動支出			0
①借入金返却支出		0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額(H)	0	0	0

IV 予備費支出(I)	0	20,000	▲ 20,000
-------------	---	--------	----------

☆当期支部扱い収支差額(J)[D+G+H-I]	232,467	▲ 72,687	305,154	当期の収支
◎当期支部収支差額総計(K)[F+G+H-I]	240,760	▲ 77,983	318,743	本部における九州支部の収支

☆前期支部扱い繰越収支差額(L)	2,201,786	2,201,786	0	前期決算時点の支部の全財産
[うち連合大会担当学会準備金]	0	0	0	(あ)
[うち周年行事準備金]	150,000	150,000	0	(い)
[うち周年行事準備金特別積立金]	600,000	600,000	0	(う)
[うち若手研究者発表会準備金]	0	0	0	(え)
[うち新学術事業準備金特別積立金]	250,000	250,000	0	(お)
[うちその他繰越金]	1,201,786	1,201,786	0	
△前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	▲ 1,704	▲ 1,704	0	
◎前期支部繰越収支差額総計(N)	2,200,082	2,200,082	0	
☆当期支部扱い次期繰越収支差額(O)[J+L]	2,434,253	2,129,099	305,154	当期決算時点の支部の全財産(次年度L)
[うち連合大会担当学会準備金]	0	0	0	(ア)
[うち周年行事準備金]	200,000	200,000	0	(イ)=(い)・5万円(5万円/年)
[うち周年行事準備金特別積立金]	600,000	600,000	0	(ウ)=(う)・40万円
[うち若手研究者発表会準備金]	0	0	0	(エ)=(え)・8万円
[うち新学術事業準備金特別積立金]	250,000	250,000	0	(オ)=(お)・10万円
[うちその他繰越金]	1,384,253	1,079,099	305,154	
△当期支部源泉税支払額(P)	3,411	17,000	▲ 13,589	次年度の本部会計繰入金収入
◎当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	6,589	▲ 7,000	13,589	
◎当期支部繰越収支差額総計[K+N]	2,440,842	2,122,099	318,743	

積立金

[うち連合大会担当学会準備金]	決算	予算	
前期からの繰越	0	0	(あ)
当期積み立て（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
当期支出（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
次期への繰越	0	0	(ア)
[うち周年行事準備金]	決算	予算	
前期からの繰越	150,000	150,000	(い)
当期積み立て（前期総会にて承認）	50,000	50,000	
当期支出（前期総会にて承認）	0	0	
次期への繰越	200,000	200,000	(イ)
[うち周年行事準備金特別積立金]	決算	予算	
前期からの繰越	600,000	600,000	(う)
当期積み立て（前期総会にて承認）	0	0	
当期支出（前期総会にて承認）	0	0	
次期への繰越	600,000	600,000	(ウ)
[うち若手研究者発表会準備金]	決算	予算	
前期からの繰越	0	0	(え)
当期積み立て（前期総会にて承認）	150,000	150,000	
当期支出（前期総会にて承認）	150,000	150,000	
次期への繰越	0	0	(エ)
[うち新学術事業準備金特別積立金]	決算	予算	
前期からの繰越	250,000	250,000	(お)
当期積み立て（前期総会にて承認）	100,000	100,000	
当期支出（前期総会にて承認）	100,000	100,000	
次期への繰越	250,000	250,000	(オ)
積立金総計	決算	予算	
前期からの繰越	1,000,000	1,000,000	
当期積み立て（前期総会にて承認）	350,000	350,000	
当期支出（前期総会にて承認）	300,000	300,000	
次期への繰越	1,050,000	1,050,000	

令和 5 年 3 月 22 日

(一社) 日本音響学会 九州支部
支部長 川井 敬二 殿

(一社) 日本音響学会 九州支部

会計監査 西島 恵介

会計監査 尾本 章

令和 四 年度 収支決算書について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令
および支部規則に照らして正当であることを認めます。

4. 2023 年度活動計画

事業年度：2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

(1). 事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

- 2023 年度も前年度並みの開催数を見込んでいる。講演会、シンポジウム等の開催協力にも適宜対応する。但し、支部補助金を伴う協力に関しては、予算の関係上、九州支部会員に還元されるところが大きいのか、補助の必要性があるかを考慮の上、適宜判断する。
- 2023 年度は支部主催の研究発表会等として、学生のための研究発表会を実施する予定である。現在の所 11 月中旬開催を予定している。
- 2023 年度の「サマーキャンプ」については、実施にむけて検討する。

2. 学生表彰の実施

2023 年度内公示から 24 ヶ月に遡って九州支部が主催または共催する、研究発表会、研究会および「学生のための研究発表会」などにおける学生の発表を対象として応募者を募り、特に優れたものを表彰する。

3. 九州支部学会活動貢献賞による顕彰の実施

本支部活動の活性化に多大な貢献があった支部所属の正会員又は学生会員に対し九州支部学会活動貢献賞により顕彰する。

4. 電気・情報関係学会九州支部連合大会における活動

- 分担金の支出、役員の派遣
- 2023年度(第76回)電気・情報関係学会九州支部連合大会が2023年9月7日(木)、8日(金)に崇城大学にて開催される。コロナ禍の状況によってはオンライン開催へ変更する予定。連合大会運営方針に基づき、開催の当番学会は、主当番学会 電子情報通信学会／副当番学会 音響学会 である。

大会副委員長： 川井敬二

庶務幹事^{*1}： 小林牧子

会計幹事： 中島栄俊

開催地実行副委員長^{*2}： 岡本学

^{*1}大会委員を兼務。

^{*2}音響学会外の連合大会委員として選出。

主な日程：

講演申込（タイトル，要旨） 6月5日（月）～6月30日（金）24：00

原稿締切 8月7日（月）

- 大会運営に関する特記事項
学生ポスターセッションが開催され，ポスター表彰も行われる見通し。

(2). 事務，その他の活動

1. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）
学会本部で管理するサーバー(acoustics.jp)において，支部関連文書，支部からのお知らせなど，支部活動の公開を継続的に実施する。また，継続的な保守のための環境整備を行う。
2. 役員選挙の実施および役員会、総会の開催
2024年3月に実施，開催。

令和5年度 日本音響学会九州支部 予算 (案)

勘定科目	R05年度	R04年度	増減 (R04-R03)	備考
	予算	予算		
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入	0	0	0	
①事業収入	0	0	0	
研究発表会事業収入	0	0	0	
支部若手研究者発表会収入	0	0	0	
支部連合大会分担金戻入収入	0	0	0	
講習会事業収入	0	0	0	
講習会参加料収入	0	0	0	
特別企画収入	0	0	0	
国際会議事業収入	0	0	0	
②雑収入	19	17	2	
受取利息収入	19	17	2	前期利息同額を見込む(2022/8/22)
雑収入	0	0	0	
③◎他会計からの繰入額	402,000	417,000	▲ 15,000	支部会員数による
③☆本部分会計からの繰入金収入(送金額)	399,726	405,296	▲ 5,570	上の繰入額から前期源泉額が引かれて送金される
△本部分会計繰入金収入(源泉補充額)	2,274	11,704	▲ 9,430	前期の源泉支払額 (確定)
☆支部扱いの事業活動収入計(A)	399,745	405,313	▲ 5,568	
◎総額の支部事業活動収入計(B)	402,019	417,017	▲ 14,998	

勘定科目	R05年度	R04年度	増減	備考
	予算	予算		
2.事業活動支出				
①事業費支出	365,000	400,000	▲ 35,000	
研究委員会等事業費	40,000	90,000	▲ 50,000	
支部研究会補助金支出	40,000	90,000	▲ 50,000	前年度実績と同じ4件を見込む
支部談話会補助金支出	0	0	0	
研究発表会等事業費	200,000	200,000	0	
支部連合大会費支出	50,000	50,000	0	連合大会
支部若手研究者発表会支出	150,000	150,000	0	学生のための研究 (11月実施現地開催予定)
支部主催研究会支出	0	0	0	
講習会等事業費	100,000	100,000	0	
講習会費支出	0	0	0	
支部講演会・見学会支出	0	0	0	
支部交流推進経費	100,000	100,000	0	サマーセミナーABC-Q (新学術事業)
選奨事業費	25,000	10,000	15,000	
支部表彰支出	25,000	10,000	15,000	5人×@5000円(確定)
貢献賞支出	0	0	0	0人(確定)
特別企画等事業費	0	0	0	
国際会議等事業費支出	0	0	0	
支部周年事業費支出	0	0	0	周年事業支出
その他の事業経費	0	0	0	
②管理費	58,000	58,000	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	郵送 (主に書類授受送信の切手代)
文具消耗品等購入支出	5,000	5,000	0	文具
印刷製本費支出	0	0	0	
支部HP維持管理費	0	0	0	プロバイダへの支払い
会議費支出	20,000	0	20,000	
支部総会関連支出	20,000	0	20,000	前年度未開催総会(菓子,会場)2019年度実績に基づく
支部役員会関連支出	0	0	0	
支部委員会関連支出	0	0	0	
諸手数料支出	3,000	3,000	0	振込手数料, 前期予算案に合わせた
消耗什器備品購入費支出	0	0	0	
雑費支出	20,000	40,000	▲ 20,000	支部Web管理委託バイト(2万)
③他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
		0		
☆◎支部扱い事業活動支出計(C)	423,000	458,000	▲ 35,000	
☆支部扱いの事業収支差額(D)[A-C]	▲ 23,255	▲ 52,687	29,432	
◎当期支部源泉支払額(E)	12,000	17,000	▲ 5,000	今期の源泉支払見込み (2020年度実績に基づく)
◎当期支部事業収支差額総計(F)[B-C-E]	▲ 32,981	▲ 57,983	25,002	

II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入	0	0	0	
①固定資産売却収入	0	0	0	
什器備品売却収入	0	0	0	
②積立金取崩収入	0	0	0	
		0		
投資活動収入計	0	0	0	
2.投資活動支出	0	0	0	
①固定資産取得支出	0	0	0	
②特定資産取得支出	0	0	0	
		0		
③繰入金支出	0	0	0	
		0		
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額(G)	0	0	0	

III 財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
①借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
		0		
2.財務活動支出	0	0	0	
①借入金返却支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(H)	0	0	0	

IV 予備費支出(I)	20,000	20,000	0	
-------------	--------	--------	---	--

☆当期支部扱い収支差額(J)[D+G+H-I]	▲ 43,255	▲ 72,687	29,432	当期の収支
◎当期支部収支差額総計(K)[F+G+H-I]	▲ 52,981	▲ 77,983	25,002	本部における九州支部の収支

☆前期支部扱い繰越収支差額(L)	2,434,253	2,201,786	232,467	前期決算時点の支部の全財産
[うち周年行事準備金]	200,000	150,000	50,000	
[うち周年行事準備金特別積立金]	600,000	600,000	0	
[うち新学術事業準備金特別積立金]	250,000	250,000	0	
[うちその他繰越金]	1,384,253	1,201,786	182,467	
△前期末源泉税本部預かり収支差額(M)	6,589	▲ 1,704	8,293	
◎前期支部繰越収支差額総計(N)	2,440,842	2,200,082	240,760	
☆当期支部扱い次期繰越収支差額(O)[J+L]	2,390,998	2,129,099	261,899	当期決算時点の支部の全財産 (次年度L)
[うち周年行事準備金]	250,000	200,000	50,000	(5万円/年) 目標50万円(R10年度)
[うち周年行事準備金特別積立金]	600,000	600,000	0	
[うち新学術事業準備金特別積立金]	250,000	250,000	0	
[うちその他繰越金]	1,290,998	1,079,099	211,899	
△当期支部源泉税支払額(P)	12,000	17,000	▲ 5,000	次年度の本部会計繰入金収入
◎当期源泉税本部預かり収支差額(Q)	▲ 2,000	▲ 7,000	5,000	
◎当期支部繰越収支差額総計[K+N]	2,387,861	2,122,099	265,762	

積立金

[うち連合大会担当学会準備金]	予算	予算	
前期からの繰越	0	0	(あ)
当期積み立て	50,000	50,000	通常5万円/年
当期支出	50,000	50,000	
次期への繰越	0	0	(ア)
			維持額5万円
[うち周年行事準備金]	予算	予算	
前期からの繰越	200,000	150,000	(い)
当期積み立て	50,000	50,000	通常5万円/年
当期支出	0	0	
次期への繰越	250,000	200,000	(イ)
			目標額50万円 (R10年度：30周年)
[うち周年行事準備金特別積立金]	予算	予算	20周年の残
前期からの繰越	600,000	600,000	(う)
当期積み立て	0	0	
当期支出	0	0	
次期への繰越	600,000	600,000	(ウ)
			維持額60万円
[うち若手研究者発表会準備金]	予算	予算	
前期からの繰越	0	0	(え)
当期積み立て	150,000	150,000	通常15万円/年
当期支出	150,000	150,000	
次期への繰越	0	0	(エ)
			維持額15万円
[うち新学術事業準備金特別積立金]	予算	予算	
前期からの繰越	250,000	250,000	(お)
当期積み立て	100,000	100,000	通常10万円/年
当期支出	100,000	100,000	
次期への繰越	250,000	250,000	(オ)
			維持額10万円
積立金総計	予算	予算	
前期からの繰越	1,050,000	1,000,000	
当期積み立て	350,000	350,000	
当期支出	300,000	300,000	
次期への繰越	1,100,000	1,050,000	

6. 2023 年度支部役員及び評議員選挙結果

任期：2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

有効得票数 54 票 各候補者は 53～54 票を獲得し、承認された。

役職別	候補者氏名	勤務先
評議員	カーン タウヒドゥル イスラム	佐賀大学
評議員	田邊 将之	熊本大学
評議員	西島 恵介	大分大学
評議員	藤本 卓也	四元音響設計事務所
評議員	水町 光徳	九州工業大学
庶務幹事	山川 仁子	尚綱大学
会計幹事	坂田 聡	熊本県立技術短期大学校
会計監査	藺田 光太郎	長崎大学

来年度まで任期が継続する役員は以下のとおり。

任期：2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

支部長	川井 敬二	熊本大学
副支部長	河原 一彦	九州大学
評議員	岡本 学	崇城大学
評議員	高田 正幸	九州大学
評議員	富来 礼次	大分大学
評議員	古家 賢一	大分大学
評議員	西村 勇也	熊本高等専門学校
庶務幹事	小林 牧子	熊本大学
会計幹事	中島 栄俊	熊本高等専門学校
会計監査	尾本 章	九州大学 (欠席)

7. 支部学生表彰について

役員，評議員による審査結果に基づき，学部生，大学院博士前期課程，大学院博士後期課程の各カテゴリで得点の高かった下記5名を表彰することとしたい。

【学部生の部門】

学生氏名：橋本 将史（はしもと まさし）

学生所属：九州大学芸術工学部

音響設計学科 学部4年

指導教員氏名：上田和夫

研究テーマ：劣化音声の知覚に関する研究

審査の対象となる主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- ・ 題目：断続伸長モザイク音声：時間分解精度と断続が了解度におよぼす効果の分離
- ・ 著者名（連名者を含む全員）：橋本将史 上田和夫 竹市博臣 若宮幸平 ジェラード B. レメイン
- ・ 論文が発表された学会、研究会等の名称：聴覚研究会
- ・ 発表年月日：2022年12月18日
- ・ 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：日本音響学会聴覚研究会資料，Vol. 52, No. 8, H-2022-118, pp. 647-652
- ・ 発表論文における役割（記入例：○○のアイデアを提案、△△の実験を実施）：知覚実験の計画，刺激生成，実験実施，実験データの整理および統計的分析，考察，研究会資料論文の草稿執筆

【大学院博士前期課程の部門】

学生氏名：吉田 悟（よしだ さとし）

学生所属：大分大学大学院工学研究科

知能情報システム工学コース2年

指導教員氏名：古家 賢一

研究テーマ：高品質な音声合成技術に関する研究

審査の対象となる主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- ・ 題目：（論文1）WaveNet ボコーダにおける複数話者学習時の音声品質の向上
- ・ 著者名（連名者を含む全員）：吉田 悟・上ノ原進吾・古家賢一

- 論文が発表された学会、研究会等の名称：電気音響研究会
- 発表年月日：2021年12月22日
- 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：信学技報, vol. 121, no. 311, EA2021-57, pp. 1-6, 2021年12月.
- 発表論文における役割（記入例：〇〇のアイデアを提案、△△の実験を実施）：複数話者の高品質な音声合成方法の提案

学生氏名：村木亜未香（むらき あみか）

学生所属：九州大学大学院芸術工学府

芸術工学専攻 修士2年

指導教員氏名：山内勝也

研究テーマ：サイン音デザインを取り巻く現状とデザイン過程の分析

審査の対象となる主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- 題目：サイン音デザインの現場における実情調査
- 著者名（連名者を含む全員）：村木亜未香，山内勝也
- 論文が発表された学会、研究会等の名称：騒音・振動研究会（共催：音のデザイン調査研究委員会）
- 発表年月日：2022年12月12日
- 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：騒音・振動研究会資料, N-2022-50, pp. 1-8
- 発表論文における役割（記入例：〇〇のアイデアを提案、△△の実験を実施）：実験計画，実験の実施，データ分析，論文執筆

学生氏名：壇 実里（だんみのり）

学生所属：九州大学大学院芸術工学府

芸術工学専攻 修士2年

指導教員氏名：山内勝也

研究テーマ：電動自動車内空調の音質評価に関する研究

審査の対象となる主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- 題目：自動車室内での音楽や音声の聴取が空調音質評価に及ぼす影響に関する研究
- 著者名（連名者を含む全員）：壇 実里，山内勝也，マッシミリアーノ・マッスロ，ルイジ・マッフェイ

- 論文が発表された学会、研究会等の名称：騒音・振動研究会（共催：音のデザイン調査研究委員会）
- 発表年月日：2022年12月12日
- 予稿集等の名称、ページ番号などの書誌情報：騒音・振動研究会資料, N-2022-52, pp. 1-8
- 発表論文における役割（記入例：〇〇のアイデアを提案、△△の実験を実施）：実験計画, 実験の実施, データ分析, 論文執筆

学生氏名：Linh Doan

学生所属：九州大学大学院芸術工学府

芸術工学専攻 修士2年

指導教員氏名：上田和夫

研究テーマ：Research on the intelligibility of checkerboard speech stimuli

審査の対象となる主たる発表論文（日本音響学会九州支部が主催または共催した学会、研究会等）

- Title:A Trough in Intelligibility Curves for Checkerboard Speech Stimuli with Four and Eight Frequency Bands
- Full names of all authors:Linh Doan, Kazuo Ueda, Hiroshige Takeichi, and Gerard B. Remijn
- Name of the conference, workshop, etc. where the paper was presented:ASJ Auditory Research Meeting, Dec. 2022, Fukuoka, Japan
- Date of the presentation:December 17, 2022
- Name of the Journal, the proceedings, etc., bibliography (incl. page number):Proc. Auditory Res. Meeting, The Acoustical Society of Japan, Vol. 52, No. 8, H-2022-106, December 17, 2022 (pp. 585-590)
- Contributions (Example: Proposed XX idea, Conducted XX experiment):Planned and conducted two psychoacoustic experiments, prepared the stimuli, recruited participants, collected and analyzed the data, and drafted the conference paper.

注) 大学院博士後期課程の部門は、該当者なし。